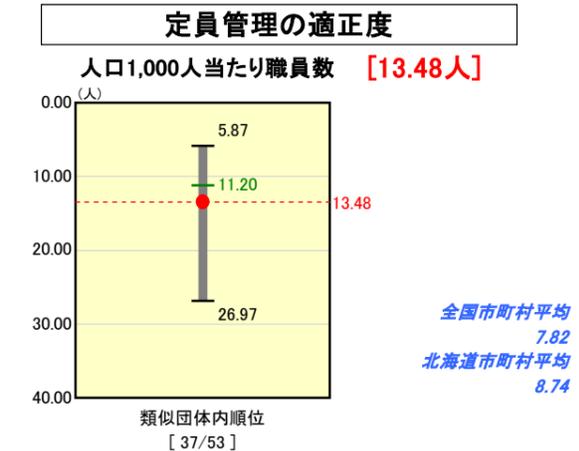
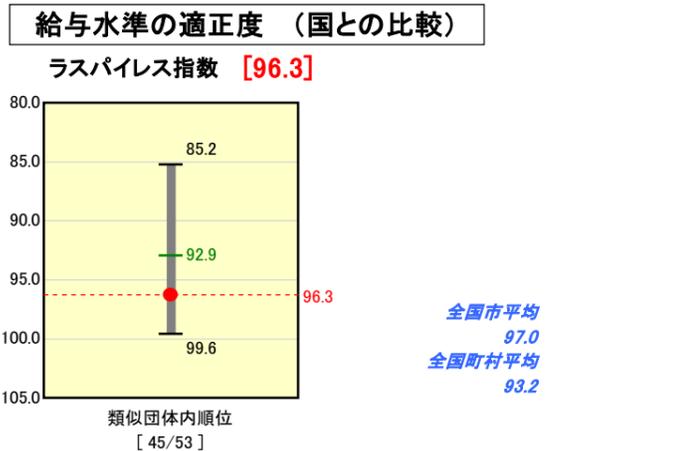
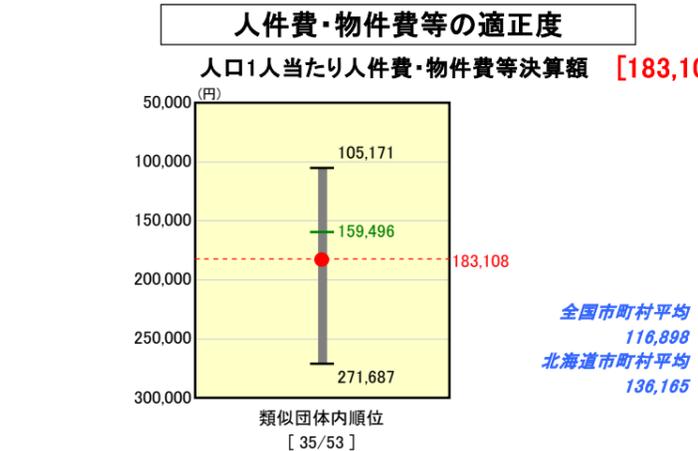
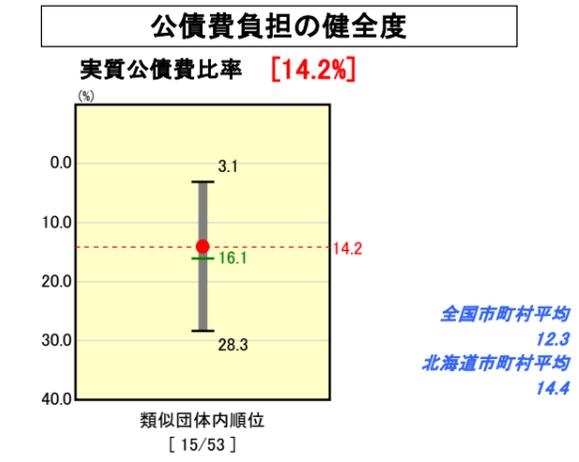
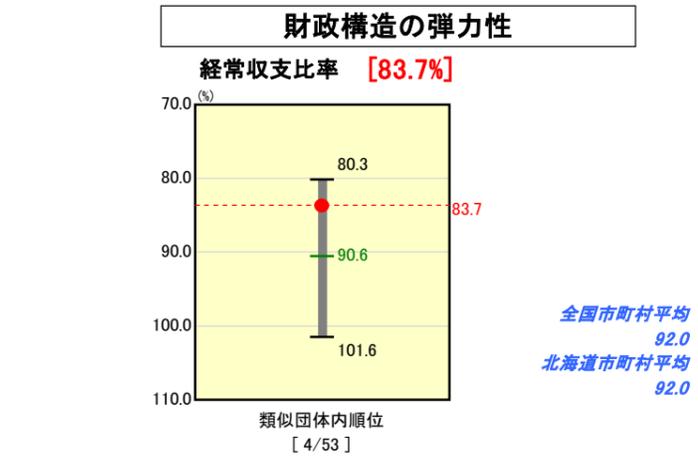
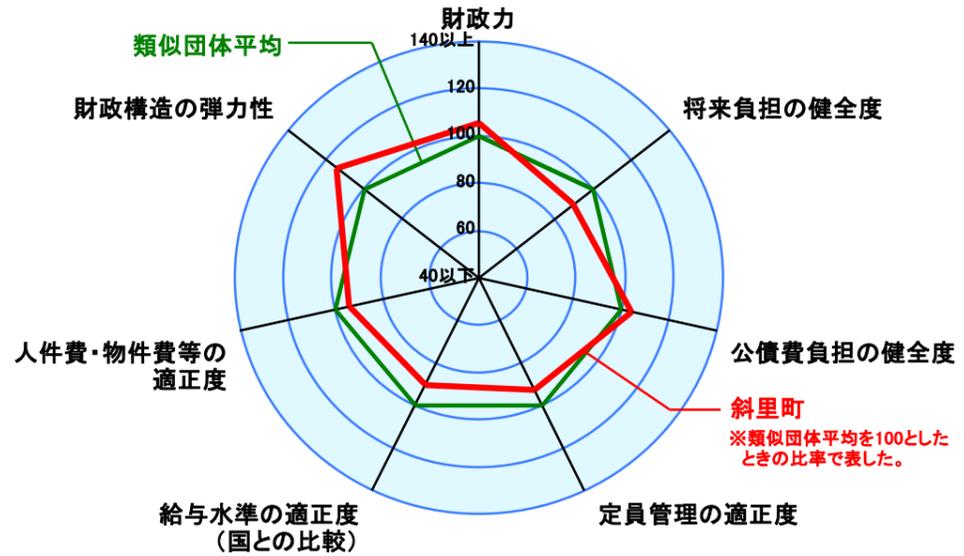
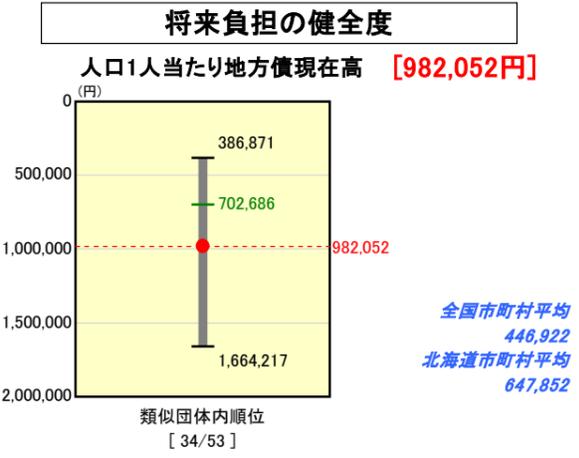
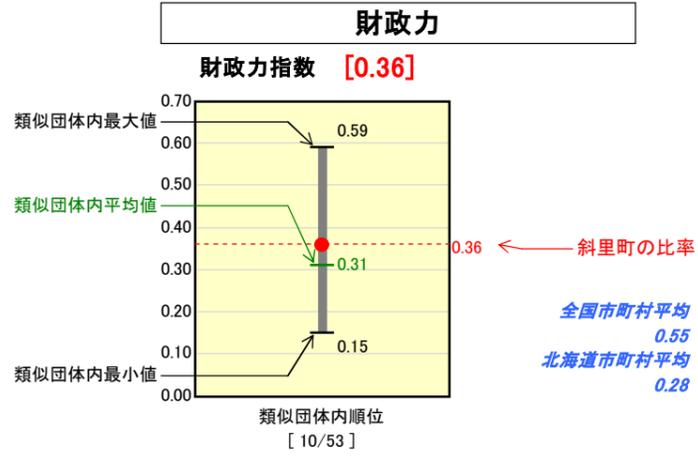


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 北海道 斜里町

人口	12,986	人(H20.3.31現在)
面積	737.00	km <sup>2</sup>
歳入総額	11,518,392	千円
歳出総額	11,359,334	千円
実質収支	158,186	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
 ※ラスパイレース指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

### 分析欄

**財政力指数**：主産業である農業・漁業・観光業のそれぞれが安定した発展をしています。特に漁業は近年大幅な生産額の上昇となっています。また、こうした一次産業を基盤とした農水産加工や世界自然遺産「知床」を背景とした観光に付随した多様性のある産業形態となっていることから、財政力指数は北海道市町村平均を上回っています。

**経常収支比率**：類似団体平均を下回っているが、地方交付税等の減額が続いていることから、年々財政環境は厳しくなっていると見えます。3次に渡る行政改革や「集中改革プラン」の実施により数値の大幅な上昇は避けられています。ひきつづいて「第4次行政改革」への取り組みを通じて、義務的経費の削減に努めます。

**人口1人当たり地方債現在高**：交付税算入措置のある地方債発行が比較的多いため、北海道市町村平均より高くなっています。今後、大型事業による新規借入があることから残高の減少は難しい現状にありますが、一般単独債の発行を抑えるとともに、計画的な公債費負担の平準化を図っていきます。

**実質公債費比率**：左記同様、交付税算入措置のある地方債発行が比較的多いため、北海道市町村平均より低くなっており健全性を保っています。今後大型事業の償還を迎えるため、上昇すると考えられますが、計画的な公債費負担の平準化を図っていきます。

**ラスパイレース指数**：ラスパイレース指数は「集中改革プラン」の具体的実施などにより、国との比較では96.3となっており、今後においても適正化に努めます。

**人口1人当たり人件費・物件費等の決算額・人口1,000人当たり職員数**：公共施設も多く、自然環境保全部局など他の自治体には例を見ない行政部門もあります。ごみ処理や給食・調理、施設管理部門などにおいて直営によって職員配置しているため平均を上回っています。今後は施設の指定管理者制度の導入や事業のアウトソーシングを進め、より定員抑制に努めます。